

DTF 規格No.	B 3 0 0 0	日 付	平成 18 年 3 月 3 日
名 称	D T F 規格の概念		
<p>本規格はデスクトップファクトリーに関する装置、構成要素、システム及びインターフェースに関する規格である。</p> <p>1. デスクトップファクトリーの定義 「机上」に「簡単」に生産設備を設置することで、「変動する生産量」の製品を「低運転コスト」「低環境負荷」で生産する工場を「場所に依存せず」構築する方法</p> <p>2. 目的 規格化することにより期待される効果</p> <p>1) 統一されたイメージによる安心感、信頼感、加えて導入側の付帯業務の効率化 ex) D T F を銘打った商品であれば基本的な評価なしで導入しても、期待通り結果が得られる。 ex) D T F を銘打った商品であれば設置、教育、保守といった導入、立ち上げまでの付帯業務の内容が予め予測できる。</p> <p>2) 重複開発防止によるロス発生の予防、効率化 装置本来の格差化機能以外を標準に依存することで、装置開発側の知的負荷、不要な品質トラブルを予防し開発の効率化を図る。 ex) D T F 開発に不可欠な小型パーツ類の開発を、都度行わなければならない開発負荷を低減させる。 ex) 開発元の技術に対する「選択と集中」を加速させ、D T F の開発、普及を加速させる。</p> <p>3) 相互接続性確保によるシステム開発の効率化、導入側での編成変更の容易化、効率化 ex) 特徴のある格差化可能な物作りに用いる装置を、複数社から導入しても簡単にシステム構築が出来る。 ex) 生産対象の変化に対しての工程編成変更による装置の並べ替えを行っても、容易に相互接続できる。</p> <p>4) 装置構成要素の品種削減による入手性向上と保守パーツストックコストの削減 ex) 開発の手番削減、高い品質レベルの確立 ex) 同機能パーツの統一化による量増大とそれに伴うコスト削減 ex) 保守パーツの品種削減による、パーツコスト、管理コスト削減 ex) パーツ商流の削減による流通、管理コストの削減</p>			